

2021年1月14日

各 位

会 社 名 株式会社ビザスク

代表者名 代表取締役 CEO 端羽 英子

(コード：4490、東証マザーズ)

問合せ先 取締役 CFO コーポレートグループ長 安岡 徹

(TEL. 050-3733-8513)

業績予想の修正に関するお知らせ

2020年7月14日に公表した業績予想(2021年2月期(2020年3月1日～2021年2月28日))を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

2021年2月期(通期)の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,400	百万円 55	百万円 48	百万円 36	円 銭 4.26
今回発表予想(B)	1,520	90	79	95	11.05
増減額(B-A)	120	45	31	59	6.79
増減率	8.6	63.6	64.6	163.9	159.4

(注). 当社は、2021年2月期の第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しておりますので、前期実績については記載しておりません。なお、当期の個別業績予想と前期の個別業績の実績との比較については、本資料の「2. 個別業績予想」をご覧ください。

2. 個別業績予想

2021年2月期（通期）の個別業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,400	百万円 53	百万円 44	百万円 32	円 銭 3.78
今回発表予想 (B)	1,520	89	76	93	10.83
増減額 (B-A)	120	36	32	61	7.05
増減率	8.6	67.9	72.7	190.6	186.5
(参考) 前期実績 (累計)	983	71	57	52	6.88

3. 業績予想修正の理由

当社は、2020年7月14日に、第2四半期累計期間の連結業績等を公表するとともに、2021年2月期（2020年3月1日から2021年2月28日まで）の連結業績予想を公表いたしました。

その後、新型コロナウイルス感染症に対する社会的な対応が進み、経済活動は徐々に引き上げられてまいりました。

当社における業況感としては、法人クライアント向けのサービスが拡大しており、法人クライアント口座数は前回公表した業績予想通りに積み上がり、また、法人クライアントの利用ニーズにフィットした営業展開を進めたことで1口座当たりの取扱高は堅調に上方推移しております。これらの要因により、ビザスク interview の取扱高の予想を引き上げております。

その他のサービス（ビザスク expert survey、ビザスク project、ビザスク lite 等）につきましても順調に成長を続けているため、足元におけるこれらのサービスの状況も今回公表する業績予想に織り込んでおります。

一方、当社のサービスの利用ニーズは、顕在・潜在いずれにつきましてもいまだに広く存在していると認識しております。そうした顕在・潜在両方の利用ニーズにアプローチするため、今期は積極的に広告宣伝活動を展開してまいりました。今回の業績予想の修正にあたり、足元における広告の投資対効果が想定より高いため、広告宣伝費を追加計上しております。

また、事業成長に向けた積極的な投資として採用活動もより一層強化し、採用費を追加で計上しております。

なお、営業利益の連結業績予想値が前回の公表値より大きく上回る見込みとなったため、増益の一部を役職員へ配分することとしております。

このほか、好調な業績を踏まえ、繰延税金資産の追加計上を行います。

以上を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、取扱高は2,250百万円、営業収益は1,400百万円、営業利益は90百万円、経常利益は79百万円、純利益は95百万円と予想しております。

(個別)

業況については、上記と同等となります。営業収益は1,520百万円、営業利益89百万円、経常利益は76百万円、純利益は93百万円と予想しております。

以上